



いま、 地域の子どもと家族のために できること

北海道特別支援教育学会2016年釧路大会 プレ企画
北海道子どもの虐待防止協会釧路支部2015年度 講演会

子どもの障害・貧困・虐待を考える講演会・シンポジウム

平成27年度文部科学省
「発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業（教職員育成プログラム開発事業）」

今日、私たちが暮らす地域には、障害・貧困・虐待をはじめ、さまざまな「不利・困難」を複合的に抱える子どもたちが存在します。それらの「不利・困難」は、複雑に絡み合い、家庭の機能を低下させ、子どもの健やかな成長・発達を妨げ始めています。今こそ、地域の関係機関・専門職が子どもたちと家庭のニーズを的確に捉え、連携・協働してその最善の利益を図るよう取り組まなければ、子どもたちは必要かつ適切な保育や教育、福祉サービスを受取る機会が保障されず、その家族とともに地域から孤立化し、ますます問題が深刻化していく、そのような負のスパイラルに落ち込んでいく可能性があります。障害者権利条約を批准しソーシャル・インクルージョン（排除のない社会）を目指す今日、保育・教育・福祉等の専門職が集い、「いま、地域の子どもと家族のためにできること」を考えます。

日時 **2015年 10月31日(土)**
13:00～16:00

会場 **北海道教育大学釧路校 403 講義室**

参加費 無料
参加申し込みは必要ありません。当日、直接会場にお越しください。



〔駐車場のご案内〕
大学には正面玄関前の「正面駐車場」と、城山小学校・城山保育園側の「学生駐車場」の2か所があります。正面駐車場に駐車できない場合には、学生駐車場をご利用ください。学生駐車場側にも出入口がございます。

プログラム

- 12:30～ * 受付
- 13:00 * 開会 [挨拶] 玉井 康之(北海道教育大学釧路校 キャンパス長)
[挨拶] 阿部美穂子(北海道特別支援教育学会2016年釧路大会 大会長)
- 13:10 * 基調講演
いま、子どもたちは —困難を抱える子どもたちに伴走する研究・教育を目指して—
木戸口正宏(北海道教育大学釧路校 講師)
- 14:00 * シンポジウム
子どもの生活現実を見つめる —障害・貧困・虐待の交錯に視点をあてて—
[コーディネーター] 小淵 隆司(北海道教育大学釧路校准教授・公立学校スクールカウンセラー)
[パネラー] 太田千佳子(北海道釧路鶴野支援学校教頭)
小林 久美(釧路市教育委員会教育支援課・スクールソーシャルワーカー)
佐藤千代子(釧路市こども保健部健康推進課・保健相談主幹)
※フロアーとの意見交換
- 16:00 * 閉会 [挨拶] 西塔 正一(北海道こどもの虐待防止協会釧路支部 代表)

紹介

北海道教育大学釧路校 特別支援教育研究室の紹介

発達障害やさまざまな困難(不登校・貧困・虐待など)、生きづらさを抱えた子どもとその家族への福祉と協働できる学校教育のあり方を研究するため、2015年4月に4名の教員で発足しました。ゼミや講義など、大学内での学びとともに、地域の子どもの活動の場にも参加し、子どものねがいをとらえる視座をもった教師を育てることを目的としています。

各教員は、それぞれの専門分野で地域の学校やNPO等の支援にかかわる一方、学生は学校や就学前施設、児童養護施設、子ども家庭支援センター、NPOが主催する学習支援、乳幼児健診等のフィールドに出かけて学びを深めています。



連絡先

北海道教育大学釧路校 特別支援教育研究室 (担当・戸田)

Tel 0154-44-3214 E-mail kus-sne@k.hokkyodai.ac.jp
Fax 0154-44-3387 HP <http://gaku.kus.hokkyodai.ac.jp/tokusitop.html>

北海道特別支援教育学会 2016年釧路大会を開催します

日時 2016年7月9・10日(土・日)
会場 北海道教育大学釧路校にて

記念講演 花熊 暁氏(愛媛大学教育学部教授)

シンポジウム、ポスター発表、学習講座他。
近々、HPにて大会プログラムを発表予定。

どなたでも参加できます